

すて〜じ通信



発行 平成22年2月1日 第 3号

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぷらざ1F

社会福祉法人 北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

E-mail / stage@dofukuji.or.jp

こんにちは、すて〜じです。

2010年も早いもので、すでにひと月がたちました。改めまして、みなさま今年1年どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、すて〜じを開設して10ヶ月、もうすぐ一年を迎えようとしています。胆振・日高圏域の関係機関の方々とのネットワークづくりのため、訪問や会議、研修会の開催等に取り組んできました。東西に長いこの圏域において、まだまだ十分にネットワークが構築できているとは言えませんが、今後も継続して取り組みを進め、その強化、充実に努めてまいりたいと思います。

さて、2010年度の厚生労働省関係予算の内、障害者雇用施策関係予算(案)では、前年より8億3千6百万円増の212億3200万円との予算額が示されました。また、「障害者雇用納付金制度」の一部改正により、納付金制度適応事業主の拡大が2010年7月に施行されます。更に今年4月施行の「北海道障がい者条例」においても障がい者の就労支援が大きな柱の一つに位置づけられております。このように、2010年においても障がい者の就労支援施策は一層の充実の方向で進むものと思われまます。

今般の景気後退の中、北海道における有効求人倍率は低迷を続けたままです。こうした障がい者雇用の環境が厳しい状況ではありますが、前述の支援策を活かし、また追い風にして、障がい者雇用の場の確保、雇用の拡大、支援の充実への取り組みを関係機関のみなさまと協力して取りくんでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じ センター長 鈴木 隆弘

登別市における就労相談窓口の開設

すて〜じでは、登別市が行う障がいのある方への就労相談窓口の開設に協力し、昨年11月より出張での相談を開始しました。毎月第3木曜日14時~19時まで登別市庁舎内で行っています。これまで3回実施し、毎回3件ほどの相談がありました。

“すて〜じのホームページを開設しました”

皆様には大変ご迷惑をお掛けしていましたが、支援センターすて〜じのホームページを開設しました。今はまだ機関誌や事業報告等の掲載だけですが、これからは色々な情報発信をしていけたらと考えていますので、一度アクセスしてみてください

<http://www.dofukuji.or.jp/stage> で

東胆振・日高圏域就労支援合同研修会

－就労支援の基本的技術の習得－

新ひだか町、日高圏域障がい者総合相談支援センターこみっと、東胆振・日高地区障がい者雇用支援地域合同会議、胆振日高障がい者就業・生活支援センターの共催で、昨年11月18日（水曜日）、新ひだか町公民館を会場に、社会福祉法人あふた福祉会が運営する「室蘭市通所授産施設あけぼの」荒井施設長に講師としてご足労願ひ、就労支援における基本的技術の習得を主題に、講師自身が実際に経験してきた職場開拓の苦労や、自身の培ってきた就労支援の在り方についてのお話を聞く機会となりました。



講師の荒井様の経歴についてご紹介させていただきます。虻田町（現洞爺湖町）の、社会福祉法人あふた福祉会清水友愛の里で支援員、支援課長を経て現職に就かれています。

緑化作業班で草刈り業務の指導、生活支援にあたられる一方で、就労支援に積極的に取り組み、施設のある洞爺湖町のみならず近隣の市町村の企業を駆け巡り、障がい者の雇用をお願いし頭を下げて回る日々だったそうです。

講演では、その時の就労支援における苦労話も交えながら、いかにして雇用先を確保し、どのようにして障がい者の就労定着を進めていくか試行錯誤していたそうです。その経験を大切に、障がい者の雇用を自分自身の指標とし、自らの支援技術を高め、向上させていった過程が分かり易く、参加者にも十二分に伝わったことと思います。

企業を訪問しても「門前払いは当たり前」、企業を訪問する時間がない「日々のルーティンワークで忙しいは、ただの言い訳」、と言われた言葉に改めて自分自身を見直す機会となりました。講演の中の一フレーズで『種は蒔かなければ芽は出ない』という言葉がありました。沢山の畑（企業）に種を蒔き続ける大切さを感じる研修会でした。

『精神障がい者雇用促進のための意見交換会』

を i・box さんと共催で開催しました！



精神障がい者の雇用拡大の為、精神障がいに対する理解を深めていただくのと、何故精神障がい者の雇用が進まないのかを探るため、企業、事業主を対象に社会福祉法人タラプの i・box さんと共催で「精神障がい者雇用のための意見交換会」を12月11日（金曜日）に伊達市社会福祉協議会で開催しました。

師走に入り企業も忙しい中、当日は5企業からの参加があり、i・box 竹内支援員、高橋支援員から、精神障がいについての説明があった後、参加者での意見交換となり、企業側からは、発症が様々な要因がからむとなると受入側には相当の覚悟が必要になってくる、仕事の指示等で精神のバランスを崩してしまうのではないかと、支援者側は就職後も定期的なフォローをお願いしたい、精神障がいと知的障がいの境目が分からないでしたが、今回の研修で良く理解することが出来た、等の意見がありました。その後室蘭公共職業安定所の吉田上席職業指導官より制度についての説明を受けました。このような研修会、意見交換会を重ねることで、広く精神障がいについての理解が深まり、雇用が伸びていくのではないかと意見もあり、今後も続けていきたいと考えています。

ご参加いただいた企業の皆様、ハローワークの吉田上席職業指導官様、ありがとうございました。



—会議報告—

第3回東胆振・日高地区障がい者雇用支援地域合同会議

平成21年度最後となる、「第3回東胆振・日高地区障がい者雇用支援地域合同会議」を、今回は苫小牧市民活動センター会議室を会場に開催致しました。会議では福原座長の挨拶に続き、一向に先行きの見えてこない雇用情勢について、苫小牧公共職業安定所の高清水雇用指導官より報告を受けています。苫小牧ハローワーク管内での雇用状況について、障がい者の求職登録数は大きな変化がなく推移しているが、知的障がい、精神障がいの登録・来所相談が増加傾向にあるそうです。また制度の活用状況では、第1号職場適応援助者（協力機関型ジョブコーチ）の活用はなく、トライアル雇用は7件活用されたとの報告がありました。苫小牧ハローワークでは、どこの支援機関とも繋がっていない相談者（家庭での支援も難しい方）を、いかにして就職へと結んでいくか、地域の社会資源といかに有効的に連携していけるかが課題として考えているとのことでした。続いて事務局鈴木より、障害者就業・生活支援センターの事業概要とすて〜じの活動状況について報告し、構成機関から、すて〜じに今後期待すること、またどのように連携していくのかについて意見交換を行いました。胆振、日高という広域にわたる為、地域の実情が掴みきれていないと思うので、都度連携しながら支援を進めていくのがいいのではとの意見が出されました。また、昨年度から登別市で実施している、出張相談窓口の開設について、日高管内の行政機関でも取り入れたいと考えている町もありました。



福原合同会議座長様を始め、構成機関並びに事務局の皆様、お忙しい中会議にお集まりいただき、貴重なご意見大変参考となりました。一年間お世話になりました、ありがとうございました。

—会議報告—

第3回西胆振地区障がい者雇用支援地域合同会議



第3回西胆振地区障がい者雇用支援地域合同会議を、登別市総合福祉センターしんた21の多目的ホールをお借りして会議を行いました。河原座長からの挨拶では、プロゴルファーの石川選手を話題に取り上げられ、言葉遣い人、人との接し方に見習う部分が多いと感じる。人に接する謙虚さ、優しさが大事と思う。企業のスタッフ一人一人がその気持ちを大事にしていくことで障がいのある方も安心して職場に出勤して 仕事を頑張ることが出来るのではではないかと考えているとの挨拶がありました。

西胆振地区でも東胆振・日高地区と同じく、室蘭公共職業安定所吉田上席職業指導官より、室蘭ハローワーク管内の雇用情勢等の報告・説明を受けました。管内での障がい者の雇用状況について、平成16年度以降増加の傾向にある。近年の景気悪化は障がい者雇用にも大きく影響していると考えているが、21年度の管内（3市3町）で、障がい者が解雇となったケースはないとの報告を受けています。北海道障害者職業センター新居所長からも、平成20年度に実施した「障害者雇用実態調査」の概要について報告がありました。I・boxさんと共催で開催した、精神障がいに関する意見交換会のように、障がいを理解できるような研修会を重ね、受入側（企業）に広く情報発信していく必要があると思うとの意見もありました。大垣副座長より最後に、現場の生の声が聞けた会議になったと思う。今後は現場レベルでの話し合いが出



平成21年度 胆振日高就労支援研修会を開催します！！

関係機関の皆様にはご案内させていただいていますが、胆振・日高管内の就労支援事業所、医療機関、行政機関等を対象とした「平成21年度胆振日高就労支援研修会」を、特定非営利活動法人紙風船・とまこまい就労サポートセンター紙風船さんと共催で開催する準備を進めています。

今回の研修会では講師として、沖縄県の特定非営利活動法人ミラソル会理事長の一杉光男氏と、同法人の就労サポートセンターミラソルでジョブコーチとして勤務されています東金城彰一氏の両氏をお招きしご講演頂く予定になっております。

ミラソルでは平成18年度に設立以降、3年7ヶ月で5障がい79名を民間企業へ就職し、毎年20名以上を民間企業へと送り出し、「就労実績70%、定着率80%」の実績があります。

この実績に基づき、職場開拓から定着までの実践を通じた支援の在り方・方法を学ぶ機会と思いますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

また、申込み用紙がなくても直接事務局までお電話、メール等で受け付けておりますので、参加を希望されます方は事務局へお問い合わせ下さい。

開催日時	平成22年2月19日(金曜日) 13時30分～ ※受付は13時からです
会場	苫小牧市民活動センター3階会議室2
事務局	胆振日高障がい者就業・生活支援センターすて〜じ TEL 0142-82-3930

〈今後の予定について〉

- 2月 定期訪問活動 15日(月) 西胆振地区
- 16日(火) 東胆振地区
- 17日(水) 日高地区
- 18日(木) 西胆振地区
- 18日(木) 第3回登別市就労相談～登別市役所庁舎
- 19日(金) 胆振日高就労支援研修会～苫小牧市民活動センター3F会議室
※就労サポートセンター紙風船さんとの共催
- 20日(土) 南北海道就労支援セミナー～伊達市ホテルロイヤル

平成21年度第三四半期(10月～12月) 実績報告

登録者数(累計)	37人(知的27人 / 精神3人 / 身体2人 / その他5人)
当該四半期登録者数	6人(知的5人 / その他1人)
相談内容	相談支援総件数 310件
	就職者件数 3件
	実習あっせん件数 1件
	定着支援件数 4件



フットサルのその後……

昨年12月に2回目の練習をしました。自主トレの効果も全くなく、数分で息が上がる始末…しかし、すて〜じのスタッフHさんだけは抜群の(年齢を感じさせない)動きを見せていました。創刊号で対戦相手を募集していましたが、先日なんと申し込みがあり、2月か3月に交流を兼ねて初試合を行う予定です。その時には、せめて10分くらいは走り続けられるようにしたいと思っていますのですが……